

月	予定時数	題材名	学習内容	題材目標・学習目標	評価基準
4	1	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生の美術 ・年間計画、評価 ・今年目標 	<ul style="list-style-type: none"> ・単に描いたり、作るだけではなく「形や色彩などを意識して見つめ、発見し、心を動かし、感動することから表現が生まれる」と美術の学習活動を共有する。 ・年間の授業や評価基準について理解する。 	
5		ポスターの鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターを鑑賞し、メッセージやイメージを伝えるための工夫を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の意図や工夫を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストレーションや写真、文字の形や色彩、構成などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、伝達するイメージなどを捉えることを理解している。 ・伝えたい情報やイメージとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなど、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 ・色彩の効果を理解し、意図に応じて自分の表したいイメージを創造的に表している。
	6	その1枚が人を動かす (イメージの力で伝える) ピクトグラムのデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい情報や場面を見つけて主題を生み出し、発想方法を参考にしながら効果的に伝えるデザインをアイデアスケッチする。 ・アイデアスケッチを基にパソコンの描画機能を使用し、効果的な配色等を考えながら着色する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい情報やイメージ、伝える場面を基に主題を生み出し、文字の形や色彩、構成、伝達するイメージ、伝達効果などを考え、見直しをもってデザインし表す。 	
6	2	文化の出会いがもたらしたもの ジャポンにひらめきを得た！	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャポニズムの鑑賞を通して、日本と西洋の芸術が相互に与え合った影響をアートカードを用いてゲーム感覚で学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャポニズムの表現の特色や時代背景などに関心をもち、作品の特徴や日本美術の作風がどのように生かされているかを捉える。 ・美術を通じた国際理解、美術文化の継承と創造について考え、見方や感じ方を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャポニズムの表現の特色や美しさを感じ取り、美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなど、見方や感じ方を深めている。
7	4	コマドリアニメーション	<ul style="list-style-type: none"> ・コマドリの手法を生かし、主題や動きの面白さをタブレット端末を使用し表す。 ・「普通だったら動かない」ものを対象物にし、「動き」を追求しアニメーションをつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コマドリアニメーションの仕組みを使って、表し方を工夫する中で、普通なら動かないものが動く面白さを発見したり、動きのキーワード(ウゴワード)をもとに「動き」を追求したりして、アニメーションをつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい内容を伝えるために、形や色彩、アニメーションの効果を生かして、分かりやすさなどを考え、表現の構想を練っている。 ・作者の意図やアニメーションの効果などを感じ取り鑑賞の活動に取り組もうとしている。
8		美術館へ行こう	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館に行き、本物の芸術作品に触れる経験をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術を楽しみ、感じたり考えたりすることで自分なりの視点を見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> 作者の意図や心情、創造的な工夫などを味わいながら鑑賞活動をしている。
9	1	絵の具の表現方法	<ul style="list-style-type: none"> 筆の使い方を工夫したり、水の分量を調整し、基本的な技法を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水彩絵の具の表現を身に付け、自分の意図に応じた表現方法を工夫する。 	
10			<ul style="list-style-type: none"> ・作品鑑賞について、視点の違いや構図の工夫による創造的なよさや美しさ、イメージの変化を感じ取る。 ・見慣れた風景を視点の位置を変えて見つめ、感じ取った新鮮な感動から主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、表現の構想を練る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・絵の具の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して創造的に表している。 ・造形的な良さや美しさを感じ取り、作者の意図、心情、創造的な工夫について考えるなど、見方や感じ方を深めている。
11	12	視点の冒険	<ul style="list-style-type: none"> ・主題を基に絵の具などの特性を生かし、表現方法を追求しながら絵に表す。 ・互いの作品を鑑賞し合い、視点を変えることの面白さを味わっ 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段とは違った視点から身近な風景を見つめ、感じ取ったイメージから主題を生み出し、構図の工夫や効果などを考え、材料や用具の特性を生かして創造的に絵や写真で表す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさをかんじとり、表現の意図や工夫を考えるなど、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

12			たり、表現の工夫を話し合ったりする。		
1	9	オリジナル和菓子のデザインと樹脂粘土による制作	<ul style="list-style-type: none"> 和菓子を通して、日本の伝統美術のよさや特性について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活に息づく美術の働きに関心を持ち、季節感を取り入れた日本の伝統などから主題を生み出し、形や色彩、材料などを効果を考え、オリジナルの和菓子をデザインし、樹脂粘土などで表す。 	<ul style="list-style-type: none"> 形や色彩、素材、制作技法などが感情をもたらす効果や造形的な特徴をもとに主題を生み出している。 形や色彩の効果を理解しながら自分の主題に沿った表現活動をしている。
2			<ul style="list-style-type: none"> 自然のよさや季節感を基に、形や色彩、材料の効果を考えアイデアスケッチをする。 主題を基に材料や用具の特性を生かし、見通しをもって表す。 		
3			<ul style="list-style-type: none"> 互いの作品を鑑賞し合い、よさや美しさ、表現の工夫などについて話し合う。 		

- 平面
- 立体
- デザイン
- 鑑賞
- ICT